

～突撃★ドメーヌ最新情報！！～

◆VCN°43 ノエラ・モランタン

生産地方：ロワール

新着ワイン6種類♪

VdF シェ・シャルル ソーヴィニオン 2013 (白)

シェ・シャルルは畑が下の方にあり、収穫時の雨の影響でブドウの完熟を待っている間に腐敗が広がり、収量は70%減の12 hL/haまで落ちた…。ノエラ曰く、収穫は40人を総動員して、ブドウの選果も厳格に行い、その結果、雑味のないピュアなエキスが詰まった素晴らしいワインが出来上がったとのこと！やさしく染入るような味わいに思わず顔がほころんでしまう～！

VdF レ・ピショー ソーヴィニオン 2013 (白)

収量は36 hL/haと大豊作だった！ノエラ曰く、今回の3つのソーヴィニオンの中でもっともソーヴィニオンらしいワインがこのピショーだそう。2013年はブドウのフレッシュな状態を残すため、樽を使わず100%ファイバータンクで仕込んでいる。香りはカシスの芽やライチの香りが全開でとても官能的！

VdF ソーヴィニオン 2013 (白)

悪天候の中での収穫だった。ノエラ曰く、「ソーヴィニオンのトップキュヴェである、このボワルカから引き継いだ畑のワインだけは、中途半端は許されない！」という彼女のプライドから、40人総出で粒単位で厳格な選果を行った結果、収穫に3日間を要してしまったそう。収量は例年に比べて40%減の16 hL/ha…。だが、苦労した甲斐があって、ワインはピュアでフィネスのある上品な味わいに仕上がっている！さらに、余韻に残る伸びやかな酸は熟成にも耐え得るポテンシャルを十分予感させる！

VdF テール・ブランシュ シャルドネ 2013 (白)

前年はペティアン・ナチュラルで仕上げたテール・ブランシュ。ペティアンに仕上げるカスティールワインに仕上げるかは、これからもその年のブドウの収量やコンディションに応じて決めるようだ。2013年は収量が46 hL/haとかつて経験のないほど大豊作だった！ブドウもほとんどが傷のないきれいな状態で収穫することができたそう。ワインは開けたてからしっかり香りが開いている！透明感がありやさしい味わい。

VdF モン・シェール ガメイ 2013 (赤)

2013年のガメイは、収穫中に降った雨が原因によるブドウの腐敗で収量が大幅に減ってしまった…。味わいにタンニンのエグミと青さが残らないようにマセラシオンの期間を10日間と短めにしている。ワインのアルコール度数も軽く、赤い果実のキャンディーのような軽快感とダシのようなやさしい旨味をバランスよく兼ね備えたピュアなヴァン・ド・ソワフに仕上がっている！

VdF コー・タ・コー コー 2013 (赤)

しっとりした果実と口の中でほどけるようなタンニンで、多くの飲み手を魅了するノエラのコー！今回のワインはミレジムのいつもよりも軽めに仕上がっているが、官能的な艶やかさは健在！1年の樽熟成を経て、更に瓶の中で十分落ち着いたコーは、ノエラ節が全開！2013年は低収量だったため、ジャン・リュック・テシエの買いブドウが70%ブレンドされている。

ミレジム情報 当主ノエラ・モランタンのコメント

2013年は、収穫直前まで大豊作が期待されたが、収穫中の雨の影響で、残念ながらその期待は水の泡のごとく儚く消えてしまった…。スタートは、白のシェ・シャルルの畑と赤のラ・ブディヌリーの畑が軽く霜の被害に遭った以外はほぼ順調で、2012年に収量を大幅に落としたブドウの木は、春になるとまるでその減収を取り戻すかのようにたくさんブドウの実をつけてくれた。そして、年の前半は全体的に長雨と気温の上がない不安定な天候が続いたが、奇跡的に花の時期だけは雨が止み、開花が全て順調に終わった。我々は休み返上で畑に出て、芽掻きやボルドー液の散布を行ったおかげで、ブドウの病気を未然に防ぐことができた。7月後半から天候が回復し、涼しいながらも雨の降らない日が9月下旬まで続いてくれた。（この時はむしろ雨が降らないため、畑は若干水不足でもあった）ここまでは、収量平均が50 hL/haになろうかというくらいブドウがたわわに実り、我々もドメーヌ始まって以来の大豊作を期待していた。だが、収穫の直前の9月終わりから再び天候が崩れ、熟し始めたブドウも一気に水を吸い、ブドウの実の破裂による腐敗が徐々に始まった。結果的に、テール・ブランシュやピショーなど、他よりも少し高いところにあり、早熟で水はけも良い畑は大豊作だったが、一方、ラ・ブディヌリーやシェ・シャルルなどの他よりも低い場所にある畑、そしてソーヴィニオン（ボワルカ）など晩熟の畑はブドウ腐敗のため厳格な選果が必要だった…。ワインの味わい的には、アルコールの上がない涼しい年だったので、全体的に軽めで果実味がエレガントなタイプに仕上がっている。

「ヨシ」のつ・ぶ・や・き

今回リリースする2013年のワインでやっとヴィニヨロンとして一人前になれたと謙遜するノエラ。質量共にストレスの多かった2013年を全力で取り組み、自らが納得の行くワインに仕上げられたことが、大きな自信につながったようだ。その中でも特に今回のソーヴィニオン（ボワルカ）は、厳しいコンディションの中最高のパフォーマンスを引き出した傑作と自ら賞賛している！

ノエラの一人前宣言に呼応するように、右腕であるローラン・サイヤールが今年から正式に独立するにあたって、彼女のもとを離れる。ノエラはテール・ブランシュを100%ローランに譲り、8.5 haあった畑を7.5 haに縮小。ローランに代わる責任者を新しく雇い、今年から新たなスタートを切る！…とは言っても、ローランとノエラは隣同士に住んでいて、ローランもとりあえずスタートはノエラのカーヴと一緒にシェアするので、当分は畑仕事も彼が手伝ってくれる予定だ！

(2014.12.22.のドメーヌ突撃訪問より)